

ディプロマポリシー

【コミュニケーション文化学部】

本学部では、教育課程の学びを通じて、コミュニケーション文化の専門的知識・判断力・技能・意欲・態度・実践力を習得し、以下の領域の評価基準に達成していると認められた人に学士の学位を授与します。

1. コミュニケーション文化に関する知識を深め、高いコミュニケーション力を身につけている人。(知識・技能の修得)
2. コミュニケーション文化に関する社会的課題について、論理的に思考・判断し、それに基づき、豊かなコミュニケーション表現ができる人。
(思考力・判断力・表現力の育成)
3. 修得したコミュニケーション文化の知識や技能、思考力をもとに、自己の課題を発展的に発見し、自主的に学んでいく意欲・態度を有するとともに、「ホスピタリティ」を身につけている人。(学びに向かう力・人間性の涵養)

(異文化コミュニケーション学科)

本学科では、異文化コミュニケーションについて学ぶ中で、専門的な知識、論理的な判断力、コミュニケーションおよび語学の技能を習得させ、意欲的に実践に取り組める態度を養われます。具体的には以下の評価基準に達成していると認められた人に、学士(異文化コミュニケーション学)の学位を授与します。

1. 著しく変化する現代社会において、正しい知識を持ち、得た知識を活用し、考えを表現するための語学力とコミュニケーション力を身につけた人。(知識・技能の修得)
2. 社会や文化の本質について思考し、判断する力を持ち、異なる文化を持った社会において意思疎通を十分に行うことができる人。(思考力・判断力・表現力の育成)
3. 常に幅広い分野に関心を持ち、自ら課題を見つけ、向上心を持って学んでいく意欲と態度を有し、世界の人々が共存できる社会の実現に貢献できる人。(学びに向かう力・人間性の涵養)

(日本文化コミュニケーション学科)

本学科では、学ぶことによって広い視野と良識を身につけ、「日本文化」に関連する知識や技能を実践で活かすことができる能力を習得した人に学士(日本文化コミュニケーション学)の学位を授与します。

1. 「日本文化」にかかわる専門的知識や技能を身につけている人。(知識・技能の修得)
2. 「日本文化」にかかわる諸課題について、論理的に思考・判断し的確にわかりやすく表現できる人、コミュニケーション能力を身につけている人。(思考力・判断力・表

現力の育成)

3. 修得した知識や技能・思考力をもとに課題を追究・解決し自ら成長していく力を身につけている人。(学びに向かう力・人間性の涵養)

(生活心理学科)

本学科では、心理学の考え方をもち、広く社会生活への適応力を身につけ、以下の領域で一定の評価基準に達した人に学士(応用心理学士)の学位を付与します。

1. 心理学に関する専門的な知識と心理学的探求に関する必要とされる諸技法を身につけている人。(知識・技能の修得)
2. 日常生活場面の課題について、心理学的知識や方法を活用し自発的に思考し、解決できる能力を持っている人。(思考力・判断力・表現力の育成)
3. 日常生活環境に存在する様々な問題を発見し、それらを緩和・解決しようとする態度とコミュニケーション能力を身につけている人。(学びに向かう力・人間性の涵養)

(子ども学科)

本学科では、コミュニケーション文化について学ぶなかで、子どもの保育・教育に関する専門的知識・判断力・技能・意欲・態度・実践力を修得させます。具体的には以下の領域の評価基準に達成していると認められた者に学士(子ども教育学)の学位を授与します。

1. 社会人基礎力を身につけ、子どもを取り巻く現代的課題について興味・関心を持ち、課題解決に資する専門知識を身につけた人。(知識・技能の修得)
2. 自ら進んで解決できる実践力・表現力・コミュニケーション力を身につけている人。(思考力・判断力・表現力の育成)
3. 社会人基礎力や教育・保育に関する専門的知識を修得し、積極的に現代的課題に立ち向かい、実践しようとする人。(学びに向かう力・人間性の涵養)